

GUNDAM HISTORICA

40th Anniversary 25th Anniversary

一年戦争は起きたのか?

一年戦争勃発

U.C.0079.01.03

これがた、戦い……。

ガンダム 大地に立つ!

e-up
アムロ・レイ
MS Mechanics
RX-78-2 ガンダム
Weapon Archives
コア・ファイター



即座発行
GUNDAM
WAR
特製カード

ガンダム 大地に立つ!





ひとりの少年が立ち上がった。
大きな地差しを虚空に放ち、
宇宙の足取りで

星のファイルを抱えながら。
砲煙が舞い、砲弾の飛び交う
戦場に包まれた人工の大地の中で……。

少年の生きる都市(サイド3)。
人類が増え過ぎた人口を
地球外に移民させるべく建造した。
宇宙に浮かぶ巨大な人工都市群
(スペース・コロニー)のひとつだった。
少年は地球に生まれたが、
母を地球に残し、父と共にそこで育った。

宇宙世紀0079年。
それは、ひとつの宇宙都市(サイド3)の
地球連邦政府からの独立を求める
反乱の狼煙から始まった。
(ジオン公国)を名乗る彼等と
地球連邦との戦争は凄絶をきわめ、
やがて、その炎が少年の第二の故郷
この(サイド7)にも迫ったのだ。

少年の眼前で
多くの人々が叫び、怯え、傷つき
助けを求め、死んでいった。
そして、少年は見た。
トレーラーの上で身を横たえ、
まるで自分を持っているかのような
あの白く優美な巨体を……。

ひとりの少年が立ち上がった。
彼の名はアムロ・レイ。
機械好きの心優しい少年だった。

1体の機動戦士が立ち上がった。
宇宙に浮かぶ人工の大地の中で……。
モビルスーツ(RX-78ガンダム)。

そして、少年とガンダムの、
戦火の地球と宇宙を巡る
苦難の旅が始まった……。



地球連邦軍のMS開発は、AAAの最重要機密だ。 ジャブローで開発されるも、ジオン軍にMSだと悟られ ないよう、パーツのままサイド7へ送られた。サイ ド7はサイド3のジオン公国から最も遠く、建設中 でもあるため、ジオン軍の監視が薄かったのだ。MS はここで組み立てられ、実戦配備に向けてテストや 訓練が行われる。

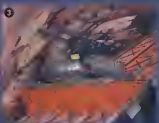
地球連邦軍のMS開発は、AAAの最重要機密だ。ジャブローで開発されるも、ジオン軍にMSだと悟られないよう、パーツのままサイド7へ送られた。サイド7はサイド3のジオン公国から最も遠く、建設中でもあるため、ジオン軍の監視が薄かったのだ。MSはここで組み立てられ、実戦配備に向けてテストや訓練が行われる。



1 RX-78-2 Gundam
2 RX-78-2 Gundam
3 RX-78-2 Gundam



4 RX-78-2 Gundam
5 RX-78-2 Gundam
6 RX-78-2 Gundam



7 RX-78-2 Gundam
8 RX-78-2 Gundam
9 RX-78-2 Gundam

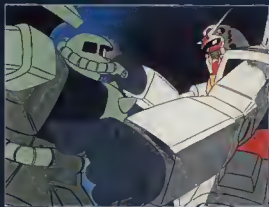
「V作戦」により、ついに連邦軍もMSの開発に成功。完成したガンダム試作機によるテストも急ピッチで進められていった。写真はガンダムの整備シーン。これだけの数のガンダムが、1か所に揃うことは二度となく、非常に貴重な場面である。右下には、開発の中心となったテム・レイの姿も見える。

V作戦発動

地球連邦軍のMS開発計画が進行し、戦争は新たな局面を迎える。



テストを終えたMSを受領するために、サイド7へ入港する新鋭輸送ホワイトベース。艦の行動そのものがV作戦の一部であり、連邦軍の最重要機密である。



ガンダムとザクによる、史上初のMS同士の交戦シーン。ガンダムの性能の高さは、量産型のザクのそれをはるかに超えるものだった。

地球連邦政府にジオン公国が独立戦争を挑んだのは、0079年1月3日のことだった。後に一年戦争と呼ばれる時代の幕開きである。開戦当初の一週間戦争と、それに続くルウム戦役。この二つの戦いで、当時の総人口の半数が失われている。数で優る連邦軍を圧倒したのは、ジオン軍の機動戦力だ。その要は、実戦投入されたモビルスーツにある。戦争前に、連邦軍がRX計画としてMSの開発に着手した頃には、すでにザクの新型の量産が行われていたのである。

ルウム戦役と、その後のジオン軍の地球侵攻作戦を経て、連邦軍も兵器としてのMSの有用性を改めて認識したようだ。RX計画を推し進め、ザクを凌ぐMSの開発と、その搭載母艦の運用計画を併せた「V作戦」を発動した。時に0079年4月1日。この作戦の中で、高性能の試作MSとして誕生したのが、ガンダムである。



そして時代はMS戦へと移り、ガンダムの歴史が動きはじめた。

戦争への道

人類史上最悪の大戦争となった一年戦争。

地球連邦とジオン公国との総力戦は、もちろん突然始まったものではない。

そこに至るまでには複雑な政治的・経済的事情が作用し、

双方が自らの大義と生存権を賭けていく過程が厳然と存在するのである。

いったいなぜ。

人類は一年戦争という黒かな歴史を刻むことを避けられなかったのだろうか？

地球連邦からの独立

旧世紀末、人類はその生存と文明の維持に必要なエネルギーを宇宙に求めた。枯渇する石油資源に替わり実用化された核融合技術。この新技術には、木星にあるヘリウム3の探掘が欠かせない。もはや単独の主権国家には不可能なこの大事業を実現するため、地球連邦という超国家連合政府が発足したのだ。

そして地球環境の限界と人口問題の根本解決のため、ついに人類は本格的な宇宙移民事業に乗り出す。宇宙世紀(U.C.)の幕開きである。地球連邦は、地球のまわりに七つの「サイド」を単位とするスペース・コロニー群を建造し、半強制的な移住政策を遂行した。

だが宇宙世紀も半世紀を越え、サイドへの定住が進むと、次第に移民たちは自治権を要求する声を高めていく。そうした声に応え、地球からの分離独立思想——コントリズムを提唱した政治指導者ジョン・ズム・ダイクンは、U.C.0058年にサイド3を独立共和国とする宣言を行い、その初代首相に就任する。

ジオン首班の共和国政府はあくまで平和的

な手段で連邦内での自治権確保を目指したが、地球連邦との間には、主権の問題のほかに彼らの理想の実現を許さぬ大きな障壁が横たわっていた。経済問題である。

宇宙での生産品は、地上生産品に対し品質・価格の面で圧倒的に優位に立つ。これに脅威を感じた地球資本の圧力により、連邦政府はジオン首班の共和国へ経済制裁を実行したのである。さらに地球資本は、この対立を軍需振興の機会とし、連邦政府に地球連邦軍の大幅な増強を働きかける。政治的対立は経済的対立、そして軍事的緊張へと発展し、事態は悪化の一途を辿るのだった。

連邦の態度が硬化するなか、ジオン政権の対話政策は根底から覆されてゆく。0068年、ダイクンが急死したことにともない、対連邦強硬派のデギン・ソド・ザビが後継の首相となる。一部ではダイクンを暗殺した張本人とも囁かれながら、デギンは指導者の喪失に揺れる同内の混乱を収拾。軍勢力によって連邦と対決してゆく姿勢を鮮明にするのだった。



U.C.0050年代、ジョン・ズム・ダイクンは地球連邦の移民政策を批判、サイド3において、連邦からの独立を市民に訴えた。独立の気運は徐々に高まったのである。



増えすぎた人類が宇宙へ移民するためのスペース・コロニーの建造には、莫大なコストがかかる。その資金運用やエネルギー管理を統一的に行うための国際機関として、コロニー公社が設立された。地球連邦政府は公社を介して、中央集権的な施政を行った。



宇宙市民の自治権獲得のために政治家となったジョン・ズム・ダイクンは、赤半ばにして急逝。彼から後継者に指名されたとも、ダイクンの隠微な仕組んだともいわれるデギン・ソド・ザビは、ジオンの名声を利用して、国家としての統制力を強化していった。



連邦の移民政策

旧世紀末に誕生した地球連邦とは各国の暫定連合であり、その財源は各国の分担負担である。連邦に直接納税・兵役の義務を負う「地球連邦国民」は、この時点では存在していない。

宇宙移民が開始され、宇宙世紀と改元されたU.C.0001年をもって、初めて地球連邦は「政府」としての体面を整え、独自の「国民」を有したのである。しかし国民であるはずの宇宙市民には、連邦政府と出身各国（つまりコロニー公社のスポンサー）との軋轢を回避するため、連邦政府への直轄の参政権が与えられなかった。

こうして宇宙市民に二等市民扱いを強いる一方、連邦政府の権限は「超国家的な」宇宙移民政策遂行上の理由から、次第に強化されていた。もはや統一政体としての強制力確保のためにも、宇宙市民という「国力」を地球連邦は手放すわけにはいなくなってしまうのだ。

U.C.0001 人類総人口が90億人を突破、地球連邦政府、宇宙移民政策を開始。

U.C.0027 月面恒久都市「フォン・ブラウン市」完成。

U.C.0040 宇宙移民人口、50億人を突破（全人類の40%）。

U.C.0048 ジョン・ズム・ダイクン、コントリズム（宇宙市民の独立国家思想）を提唱。

U.C.0050 宇宙移民人口、90億人を突破する。

U.C.0051 連邦政府、新規コロニーの建設を凍結すると発表。

U.C.0058 サイド3独立宣言、ジョン・ズム・ダイクン首魁の共和国政府が成立する。

U.C.0059 連邦政府、共和国に経済制裁を實行。

U.C.0067 連邦政府、コロニー自治権放棄案を要請。

U.C.0068 ジョン・ズム・ダイクン死去、次期首魁にデギン・ソド・ザビ。

U.C.0069 共和閣、公国側に移行、国号を「オン公国」に改める。デギン・ソド・ザビ、公王に就任。

U.C.0070 連邦政府、70年代率領増強計画を推進させる。宇宙での冷戦が本格化する。

U.C.0073 ジオン公国、新兵器「モビルスーツ(MS)」の1号機を完成させる。

U.C.0079 一年戦争勃発。



ジオン公国の成立と悪夢の開戦

デギンは建国以来の危機に対処するための国家統制力を強化する目的で、0069年に大規模な法改正を実施、共和制から公国制への移行を宣言する。ここに国父ジオンの名が冠せられた公国——ジオン公国が成立したのである。終身任官の公王に就任したデギンは国家元首となった。しかしながら、この新体制で実権を握ったのは彼の長子、ギレン・ザビである。ギレンは公国の生産基盤を軍事に転換させるべく議会を掌握、具体的な軍事力整備を進めた。また公国資本の脆弱さを国家社会主義的な統一運用で解決に乗り出していく。

こうして総帥府が設立されギレンの極端な支配が進んだ結果、もはや公王たるデギンですら地球連邦との軍事衝突を回避させることは不可能となってしまったのである。

そして0079年1月3日。ジオン公国は地球連邦に対し宣戦を布告。人類史上初の宇宙での国家総力戦が始まった。軍事的緊張の高まりを、あくまで外交上の圧力としてしか考えていなかった連邦軍は、完全に唐を突かれた。連邦の宇宙戦力の基幹は各コロニーに駐留する護衛艦隊だったが、事前の出動命令は発せられなかったのである。

戦術面でのジオン軍の優勢は明らかだった。哨戒任務中の連邦軍艦艇は、ミノフスキー粒子の散布によりレーダー探知・通信が妨害され、システムチックに運用されるはずの強大な火力も、著しく能力を低下させられてしまう。そして大量投入された新兵器モビルスーツに、艦艇はなすすべなく撃破されていく。さらにジオン軍は連邦軍の拠点を制圧するために毒ガス・核兵器を

大量に使用し、巻き添えとなった市民がコロニーごと虐殺される事態も多発。本来は地球連邦から解放されるはずの宇宙生活者たちにとっても、最悪の結果となった。

またジオン軍は、開戦と同時に終戦に向けた作戦も開始している。サイド2のコロニー「アイランド・イフッシュ」を制圧、連邦軍総司令部のある南米・ジャブローに落下させる「プリティッシュ作戦」を発令したのである。直撃すれば、地下深くの堅牢な司令部といえど、ひとたまりもない。

しかし、開戦前に唯一出撃していたレビル中将率いる第3艦隊などの反撃で、ジャブローへの直撃は辛うじて阻止された。ジオン軍は大戦果を挙げたものの、戦争の早期終結という戦略目標の達成には失敗したのだ。開戦から一週間。この間の戦闘はのちに「一週間戦争」と呼称されることになる。この一連の戦闘で、戦火は実に全人類の半数近い人々を死に至らしめたのだ。

人類史上最悪のジェノサイド

ジオン軍には作戦進行上、大きな問題があった。連邦艦隊の出撃を阻止したものの、コロニー内部に隠れた敵の脅威を削ぐには、いちいち侵入し制圧しなければならない。海兵隊など、保有する上陸戦艦部隊の数に比べてコロニーの数はあまりに多く、短期決戦を勝利の絶対条件としていたジオン軍にとって、制圧戦に時間と労力を割かれる事態はなるべく避けねばならなかった。こうした状況下、ジオン軍の特質的特徴である「強力な権限をもつ指揮官」は、通信が途絶し敵味方とも連通戦を強いられる混乱した戦場で、「従軍可能な全兵力を投入する」という総動員原則を忠実に実行してしまふ。GGガスと呼ばれる致死性の毒ガスと、核弾頭。大量破壊兵器の無制限使用である。これが意図的な虐殺計画によるものだったのか否かは、いまだ不明のままで……。



ジオン公国公王デギン・ゾド・ザビ(左)と、その長男ギレン・ザビ(右)。ギレンは軍事と行政の全権を中興する総帥の地位に就き、戦争政策を独断的に推し進めた。



ジオン軍は強大な連邦宇宙軍との艦隊決戦を回避し、全軍をMSによる機動部隊の編制に切り替えた。圧倒的な戦力差を先制攻撃と新戦術の優位で挽回したのである。



各サイドの連邦艦隊への攻撃は成功したが、唯一サイド5(ルウム)駐留の泊地での侵襲に失敗。想定外の惨害をくぐらせた。

史上初の実験用MS、MS-05グレイの完成を内覧する、ギレン・ザビはジオン公国軍の高官たち。

MSの開発には総帥府が深く参画し、対連邦艦隊戦の切り札となった。実戦配備後も、その運用は厳重に統制されたという。

戦争に巻き込まれた

年若きガンダムパイロット



PROFILE

U.C.0064年、地球生まれ、地球連邦軍の技術士
 富テム・レイとカミーアの子。幼い頃から父テムに連れら
 れ宇宙に上り、0072年カミーアと再会し、父の死を悼み
 形見入り、0083年の第二次宇宙・ジオン戦争を行
 方不明となるまで。連邦のトップ・エースとして活躍



▲近衛司令も気づかずに離れしりに熱
 中していたアムロを、隣人だったフラウ・
 ボウが口うるさく喚ぶ。



▲あまり社交性がなく周囲に無気遣いだっ
 た少年の平穏な生活を、戦争は否応な
 しに変えてしまう……。

【クローズアップ キーパーソン】

CLOSE-UP KEY PERSON

一年戦争で伝説的な戦果をあげた、地球連邦軍のエース、アムロ・レイ。驚くべきことに、彼はもともと
 軍人ではなかった。ジオン軍のサイド7襲撃に巻き込まれるまでのアムロは、機械好きで有名なだけの、多
 感で内向的な普通の少年だったのだ。だが、生きるために戦うしかなかった彼は、新鋭艦ホライズ
 ンに乗り込み、戦場で否応なく成長させられてゆく。白いモビルスーツ・ガンダムのパイロットとして、

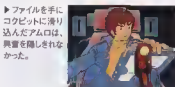
アムロ

Amuro Ray

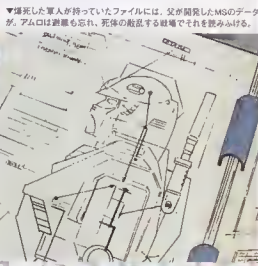
出 会 い

～白きMSと～

サイド7に住むアムロたちの平穏を突如破った、ザクの急襲。彼は民間人を避難させてもらおうと軍属の父テムを捜す途中、V作戦のファイルを偶然に拾う。そこには、父が家庭そっちのけで開発したモビルスーツ・ガンダムの詳細が。アムロは人間よりMSの避難を優先するテムをなじる。そして理不尽な殺戮に逆上し、思わず飛び乗ったガンダムで、迫るザクを倒す。皮肉にも、薄情な父が作った機体の性能と「機械好き」の血が、アムロを守ってくれたのだ。



▶ ファイルを手に
コクピットに滑り
込んだアムロは、
興奮を隠しきれな
かった。



▼ 爆死した軍人が持っていたファイルには、父が開発したMSのデータが。アムロは避難も忘れ、死体の散乱する戦場でそれを読みふける。



▲ アムロはブライトに「ガンダムの性能をあてにしない」と叱責され反感を抱く。兵隊でもないのに、ムカツクという方が無理。アムロは逆くない。が、できれば死ぬだけのな。

初 陣

～人々を守るため～

避難民を乗せたホワイトベースの脱出。その出港を守るため、アムロは再びガンダムで出撃させられた。一度衝動的にザクと戦っただけの素人以上に実戦経験のある若さ、この艦にはいなかった。戦場に駆り出される恐怖と、人々に頼られる高揚感に揺れながら、アムロは敵を退ける。ガンダムを操るというより、機体に操られてのぎこちない勝利。叱咤するブライト・ノアに反発しながらも、黙ってガンダムを操縦するしかない。ただ生き残るために。



▲ 生命の船にピーンを穿つアムロ。殺し合いに参加する恐怖が体中を走る。



▲ シャアのザクとの初交戦。本物の戦いは、アムロは思い知らされる。

戦 闘

～流されるまま～



▲ 初めての船を通す軍属。をしくすし的に軍人に。

連邦軍基地ルナツーへ向かう途中、アムロは補給中の敵を叩く作戦に自ら賛成する。それはパイロットとしての自信の芽生えか、はたまた迷うブライトへの対抗心か。WBにいるのは、同年代の少年たちと「お荷物」の民間人だけ。ルナツーに迫りつた彼らに「大人」たちが示したのは、冷たい無理解でしかなかった。流されるまま戦うしかないアムロたちを、執拗にシャアが襲う。命を賭けた宿敵との勝負のほかに、彼らを成長へと導くものは何もなかった。



▲ 敵の補給中に逃げたか、意図するか多岐。アムロも打って出る方に賛成。



▲ ルナツーでシャアに襲われ、ガンダムを封印した連邦軍の泥あぐに追われる。

レイ



▲4分以内でWBに戻るようにとの指示に、「戦いながら気を付けられると思ってるんですか」と悪態をつく。

▶が、いざとなるとき身の危険を察して自らの機體に集中するのがアムロの一貫した性格。マニアルを繰り、大気圏突入の方法を見つける。

突入

～大気圏に～



地球のジャブロー基地に向かうWBの大気圏突入直前、再びシャアが攻撃を仕掛けてきた。ガンダムで出たアムロは、シャアの狙い通りWBに戻れなくなる。大気摩擦でい早く燃え尽きる敵のザクを横目に、アムロは必死でマニアルをめくり、助かる方法を探す。灼熱するコクピットで、絶望的な焦りと恐怖が彼を包んだはずだ。だが、前例のない単独突入を、彼は奇妙な落ち着きの中で成功させる。それは、少年と白いMSが伝説になる、最初の瞬間だった。

疲弊

～疲れ果てて～

無事大気圏を突破するが、ジオンの勢力圏下に降ろされてしまったWB。激しさを増し、休む間もなく延々と続く戦いは、アムロを疲れさせていった。しかしWBのクルーたちの現状は、アムロを頼りにするしかなかった。アムロは次第にふさぎ込み、心を閉ざすようになっていく。愚痴をこぼす相手すらいない状況で、それでも敵が来れば戦いに駆り出される。そんな日々が続く。アムロと他のクルーたちとの間の心の溝も、徐々に拡がりだしてきていた。



▲「自衛の問題じゃない、やるしかないでしよう。ブライトさん」アムロはまた出撃すること。WBに乗ってからこつち、そんな会話を繰り返す。



▲このときのアムロにはキツカたちの無邪気なお尻に託せる余裕もない。



▲機體に眠ろうとしても眠れない日々が続く。アムロは疲れ果てていく。

地球

～戦いの日々～

地球はアムロにとって故郷という感覚はなかっただろう。そんなことを考える余裕さえない。消耗ききったアムロはついに戦いを拒否し、ブライトに殴られたりもした。だが彼の「お前ならシャアを超えられると思っていた」という言葉で、すぐに立ち直る。そして孤立無援のWBを助けに来た補給部隊のマチルダとの出会いは、アムロにひとときの安らぎを与えた。美しい大地をゆく逃避行は、様々な思いと出会いに満ちた、アムロの心の旅でもあったのだ。

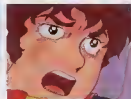
イヤなんだよ!



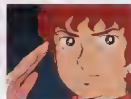
▲西面防衛を打倒するため、コア・ファイターでの危険な連絡任務を積極的に買って出る。



▲避難先のベルシア親子との交流。彼らの行く末を心配する優しい面が、アムロの本来の姿だ。



▲慣れないいけるアムロは、ブライトに「貴が二度とガンダムなしに乗ってやるものか」と叫ぶ。



▲マチルダは戦いの中、アムロに自信と確れの気持ちを与えてくれた。そんな彼女に救いを運ぶ。



▲イセリタのご飯を準備するアムロ。「何ていうる前の人だったんだろ」と、その人生を思う。



ルナフリーダム口たちは、味方ではあるはずの連邦軍兵士たちに銃口を向けられ、拘束される。V作戦の機密に触れ、WBとガンダムを勝手に運用したというがその理由だ。だが、そうしなければ生き延びられなかったアムロたちにとって、それはあまりにも現実を無視した傲慢な理屈だった。わかっていない大人たちに、叛乱民のカズ、レズ、キッカ、それにアムロが作ったマスコットロボットのハロも居る。

敵

～ジオンの脅威～

ジオンを支配するザビ家の末弟ガルマ・ザビを討ったアムロたちだったが、必死で戦ってきた彼らに誰を殺したかなど実感できるはずもない。ガルマの恋人イセリナが殺げつけた「仇」という生々しい言葉や、ガルマの死を全軍の士気高揚に利用する長兄ギレンの演説。アムロは、生身の人間として自分たちに憎悪を向けてくる敵の姿を初めて見る。ただ生き抜くためだけの行為が、巨大な憎しみの連鎖に繋がって戦争のおぞましい現実^{さかん}に、アムロは戦慄する。

「あっ、^{つら}長へばくや

▶ガルマの国葬でギレンの演説を聞き、初めて「ジオン」という敵の総体を認識するアムロ。



▼ガンダムの手番のコンピュータの修理に専念するアムロ。だが、胸の中ではイセリナの「仇」という言葉が渦巻いていた。



▲食堂で出会ったラルとハモンは、アムロの度胸を見込んで、部下が捕らえたプラウを誰とともに解放する、初めて大人の男として自分に差し、正面から対峙してきたラルは、アムロにとって父性の不在を埋める存在でもあった。

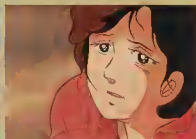
男

～ランバ・ラルとの戦い～

ブライトたちとの感情のすれ違いから、ガンダムごとWBを脱走したアムロは、砂漠の町でランバ・ラルと出会う。堂々たる風格で、愛人のハモンや部下たちを心酔させている武人ラル。アムロは彼の姿に、自分の周囲にはいない大人の男の理想像をみた。女々しくいじける自分との差を嘆かしめながら、奮然するアムロ。「あの人に、勝ちたい!」再び戦場でまみえたラルに、MSでは勝つ。しかし、自分の力で勝ったと思える日は、ついに来なかった。

母との再会

「宇宙暮らしが合わないから」と、サイド7に移住するテムとアムロとは離れ、地球に暮らしていた母カマリア。避難民キャンプで再会した母は、確かに我が子を受入れていた。ただ、彼女の中のアムロは、幼い日のままだが止まっていた。母は、生きるためにジオン兵を祭たねばならなかった今のアムロの現実を、受けとめることができなかったのだ。だからアムロは、今の彼を必要とする人々の元へ戻るしかなかった。愛はあった。離れていた歳月を埋める時間だけが、足りなかったのだ。



▲カマリアは、アムロが身を守るために、避難民を見回りに来たジオン兵に発砲したことを「すきだ」と責めてしまう。

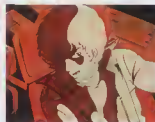
▼カマリアに別れを告げるアムロ。おそらくそれは、母の心ありふれたすれ違いにすぎないはずだ。戦争さえなければ、打ち解けられたかもしれないのに……。



▲アムロの増長を懸念し、ガンダムから奪回しようというブライトたちの機嫌を窺ったアムロは、WBを飛び出してしまふ。



▲砂漠の町の食堂で、アムロはラルの率いるWB軍部隊と鉢合わせし、激しく。そしてクラウレ・ハモンの色香にも。

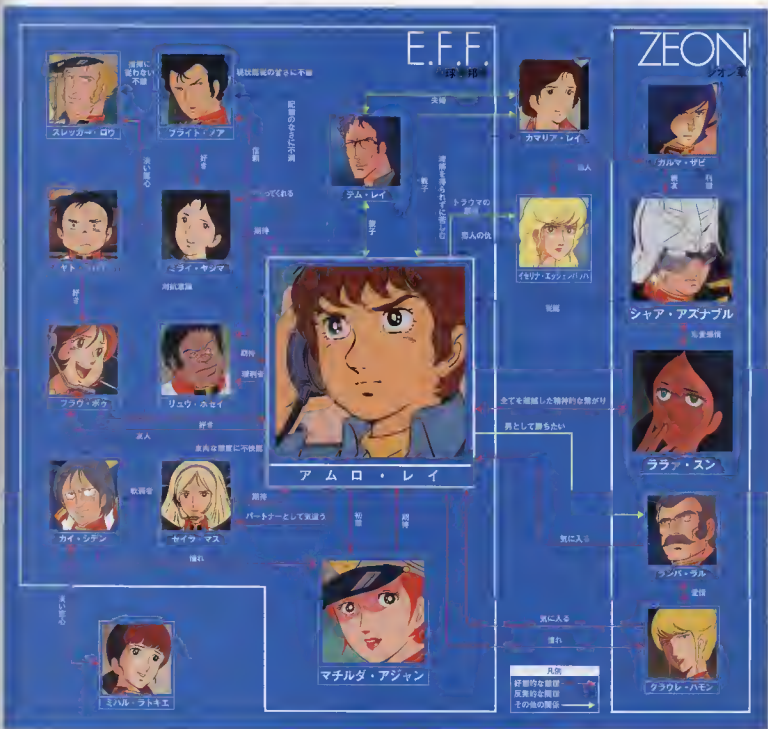


▲戦場で出会ったラルのグフと戦い、思い切りよくライフルを投げ捨てた戦況で奮戦する。だがそれだけでは足りない。



▲ランバ・ラルはガンダムの手中で自爆した。アムロはそれを、大きな喪失感の中で見つめるしかなかった。

「一年戦争最強の兵士」との呼び声も高い、撃墜王アムロ・レイ。たがその真の姿は、思春期らしい迷いや悩みに揺れまどう、等身大の少年だった。当時の関係者や当事者からの聞き取りや調査資料をもとに、25年の歳月を経た今、改めて浮き彫りにされた彼をめぐる人間関係を、相関図形式でまとめてみよう。いったいどんな人々との関わりが、サイド6の少年を「伝説のニュータイプ」に育て上げていったのだろうか



意外なことに、アムロの成長にとって、WBのクルー陣はそれほど大きな役割を果たしてなかったようだ。確かにブライトリヤウの存在は、アロが自己認識の相手をの成め、社会や世界に対する受容性にはなった。しかし人間として真に鋭い眼、手をとる相手をつたったのシャヤウラルといつた1航のほうだったといわれる。また、フラウなど同年代の女性と恋愛関係にあった形跡もない。むしろアムロが惹かれたのは、マルダグ・ハモンによるよりWB外の年上の女性だった。それは母に受け入れられなかった彼が、母性を無意識に求めつたところでもあるようだ。

ラファとの関係は、さらに不思議だ。戦闘中のニュータイプ同士の間で、ラファは「愛する人
ないアムロが戦うのは不自然だ」と嘆いたという。だが、家族愛や恋愛による他者との普通の絆が薄く、
航との繋がりが意味を見出さない心の持ち主だったからこそ、彼のニュータイプとしてのセンスも、
また、早く開花したのだとは考えられないだろうか……?

一年戦争の名機たち

Vol.1
歴史を塗り替えたMS

RX-78-2 GUNDAM

はしめに……
失いし戦友たちへ捧ぐ。

かつて戦争は、最も、航空機によって行われた。
そして宇宙世紀、宇宙市民の独立を掲げた**多蒙公国**（当時）は、**地球連邦**と対立し、**ビルの**
ス・ワグネルが、**大逆無道**の革命を引き起こした。

その時代は誕生したMSこそ、現在の兵器体系をかたちつづけたものであることに疑いの余地はない。だが残念ながら資料や記録の多くが散逸、もしくは焼失してしまっており、今のところいまだ明らかになっていないというのが実情である。

このまま時流が進めば、歴史の大河がすべてを流し去ってしまうだろう

だが第二次ネオ・ジオン戦争が終結した今だからこそ、「軍靴の時代」を象徴するMSたちの実像を掘り起こすことに意義があると判断して降さない

MSを通して歴史に正面から向きあうこと、それが己に課せられた使命であり、戦場に命を散らしていった仲間たちへの供養なのだ。

私にぞ、言している

ウィリアム・F・マチャ U.S.6088年主 シオウエ科大学在学中 職位階級を準的にROYCE (予備士官訓練課程)を修了
0079年春、早稲の出席禁止とともに予備士官官舎によって突然強制入隊に遭遇 オランダの
中部に配置される 地味な任務に就く 地味な任務に就く 地味な任務に就く 地味な任務に就く
後、0081年に帰国 道徳大学に復学 大学院で博士号取得を目標とし、看護器具メーカーに就
任すると入社 現在は道徳に勤めている M.S.は博士の論文研究を専門に就いている

開発背景

兵器史上にその名を残す名機・RX-78-2ガンダム。この機体はその革新性と伝説的活躍により、後のモビルスーツ開発行政のありかたをある意味で、決定づけてしまったとまで言われている。数々の逸話・伝説をもつジオン独立戦争（地球側名称：一年戦争）最強のMSは、いったいどうやって生み出されたのか？ 残された数少ない証言・公文書・私的資料から考えてみた。

RX計画

大戦初期、ジオン公国軍は戦場において、数に勝る地球連邦軍を翻弄し大きな戦果を挙げた。すべては電子機器を使った長距離戦闘を無効にしようとするミノフスキー粒子と、そうした特殊な環境下でこそ最大限の能力を発揮するMSのおかげであることに異論はないだろう。

MS-06ザクⅡの威力がよほど応えたのか、連邦軍は卑座に対抗兵器の開発に取りかかったらしい。実際、戦後多くの関係者によ

って証言が残されている。

設計主管にはなんと、軍技術者や兵器会社と関係のない民間人のテム・レイが選ばれた。彼はそれまでは宇宙作業機の開発に携わっており、そのミニビュレーター制御技術を買われての抜擢だと思われる（ただ彼についての来歴や評価を記した文書は、現在行方不明だという）。

これは、いかに連邦軍がそれまでザクの存在を軽視していたかということの証明と言える。大尉待遇の軍属となったテム・レイは、積極的にMS開発を進めていく。

コア・ブロック・システム

新技術のテストベッド——技術実証機性格の強いRXシリーズは、コア・ブロックという特殊なシステムを採用している。これはコンピュータを含む中核をモジュール化することで、機体が失われてもデータを回収できるようにと考案された新機軸だ。モジュールに自航能力を与えることで、戦場における試験運用のリスク、つまりデータ喪失回避率を引き上げることができると考えたのである。



技術への挑戦

開発スタッフはガンダムを使いジオンの、いや当時の極限の技術への挑戦を行った。収集したケーススタディから最良のOSを自ら組み上げていく教育型コンピュータ。高い装甲防御力と運動性という、相反する要素を成り立たせる大出力熱核融合炉と、ロスの少ないエネルギー交換器。なによりも驚異的なのは、単体での大気圏突破能力である。だが戦術兵器としては異常なこの高機能さは、実は兵器としては足かせになってしまうという事実も忘れてはならない。



ガンダムの開発には、なぜこんなものか？、これが答えないものもある。たとえばマフム社製のS-Mレーザースペシャル集積装置（左上）技術自体は戦国時代から存在したが、MSになぜ必要だったのだろうか？ 一方、ガンダムで初めて用いられた技術のうち、他に普及スタンダードとなったものも代表は、マグネット・コーティングだ（右上）モスク・ハン博士（左）が理論を構築、実用化にこぎつけた

武装

MSは作業用機器とロボットシステムの混血児として生まれたが、そもそものは軍事目的を主眼としていた。義肢装具開発者も含めた、そうした技術者たちにはMSに対する根深い反感がまだに存在する。しかしMSが軍用機である以上、研究開発の分野に兵器技術が介入していくことは避けられない。事の是非はともかく、MSの武装化は至極あたりまえなのだ。

RX-78-2

多様な武装

MSの真価は従来の兵器と異なり、携行武装の多種多様さにある。最も初期のMSであるザク・シリーズが成功した要因は、この武装によって生まれた対応任務の幅の広さにあるといえるだろう。ただ戦局が進むにつれジオン軍機は単一機能に特化、MSならではの特性……柔軟な運用能力を失っていった。反面、連邦軍はガンタンク、ガンキャノンを経て機能特化思想から抜け出し、RX計画の完成形であるガンダムは、ザクの特性をいちはん受け継いだ機体となった。大戦後期、ガンダムのもたらしたデータを活かしRGM-79ジムが戦局に大きく貢献したことを考えると、歴史のアイロニーを感じざるをえない。

しかしガンダムがその能力を発揮しきれたのは、ニュータイプであるアムロ・レイゆえというのが、現在における定説である。

ビーム・ライフル

Beam Rifle



縮退した熱エネルギーをホールドする新技術・エネルギーCAPを用いたガンダムの主兵器。破壊力は戦艦の主砲に匹敵するといわれ、数えきれないジオン軍MSを撃破した最強の携行兵器。

バルカン砲

Vulcan Cannon



19世紀後半に開発・製造された、有名な機関砲の名を与えられた兵器。砲身が短いため命中精度は低く、弾数も非常に少ないという欠点を持つ。だが60ミリ機関砲弾は意外と強力で、至近距離ならザクを撃破できた。

ビーム・サーベル

Beam Sabre



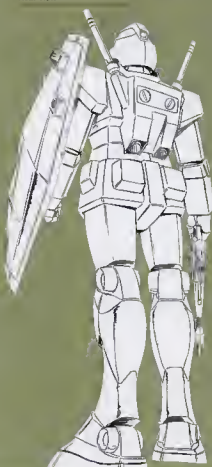
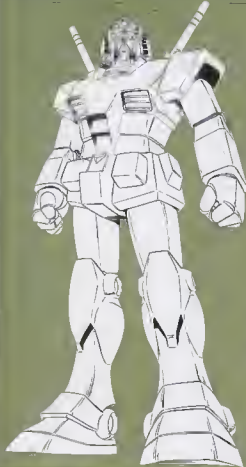
研究により対MS戦ではクロスレンジ(ゼロ距離)が頻発することが予想された。試行錯誤の果てに誕生したのが、このビーム・サーベルである。ビーム・ライフルと同様、装甲による防御が不可能なこの兵器はガンダムの切り札となり、多くの戦果を挙げた。



Front view

Side view

Rear view



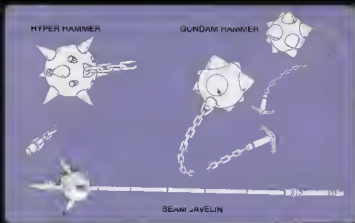
【性能諸元】
全高：18.0m
本体重量：43.4t
融合炉出力：1380kW
主推力：5775800kg
装甲素材：ルナチタニウム

ビーム・ジャベリン／ガンダム・ハンマー

BEAM JAVELIN GUNDAM HAMMER



ビーム・ジャベリンは、サーベル本体のリミッター設定を変更することで使用できたと思われる。本来は投擲兵器だが、残された戦闘情報によると槍として使われることが多いらしい。ハンマー兵器はエネルギーロスのない、思いのほか強力かつ有効な質量兵器である。ザク程度の装甲なら簡単にえぐれた。後にロケットを装備した、ハイパーハンマーという強化型が製作された。



ガンダム以前のRX計画機体

Pre-RX series

ガンダム以前に設計・製造されたMSは、ガンタンクおよびガンキャノンの2機種が存在する。ともに固定装備を主武装とし、武器の持ち替えこそが長所であるMSのコンセプトからズレたものだった。ガンキャノンにいたっては中距離砲戦機でありながら、敵弾に身をさらすことを前提にした重装甲という、少々矛盾した機体になってしまっている。

MSという兵器の本質を理解していなかったために生まれた機体といえるだろう。



【RX-75 GUNTANK】

全高：15.0m
本体重量：55.0t
融合炉出力：870kW
装甲素材：ルナチタニウム

【RX-77-2 GUNCANNON】

全高：17.5m
本体重量：54.0t
融合炉出力：1380kW
装甲素材：ルナチタニウム

戦闘能力

いままも、大戦の趨勢を決したのはガンダムの存在である、という論調を多く耳にする。だがそれは本当なのだろうか？ 残された資料を徹密に調べていくと、意外な事実が判明する。ガンダムが戦局を左右する場にいたことは、実は皆無だったのである。ではいったい、ガンダムが戦争の中で果たした真の役割とはなんだったのだろう。ざっとではあるが、少し考察してみよう。

最強たりえたのはなぜか

地球連邦軍は、大戦後期、ガンダム（とその母艦であるホワイトベース）の活躍を意図的に目立たせた。すべては準備中の反攻作戦から、敵の目を逸らすための工作である。日頃から戦果を喧伝されていた彼らを精鋭部隊と勘違いしたジオン軍は、躍起になってその撃破を試みた。しかし攻撃はすべて失敗、あけくはガルマ・ザビ大佐と北米軍の主要部隊までも失ってしまう。

さらに皮肉なのは、絶え間ない“試験”によって、素人だったアムロの憤然に手を貸してしまったという事実だろう。赤い彗星、青い巨星、黒い三連星といった強敵は、実は最高の教師だったのだ。アムロとガンダム（の教育型コンピュータ）は数多の実戦をくり抜けることで、その戦闘力を飛躍的に高めていったのである。

宇宙翔る白い戦鬼

宇宙に戻ったガンダムは、まずは地球低軌道でモビルアーマー2機と1個パトロール艦隊を撃破。サイド6へ向かった後、リック・ドム12機を撃破する機動艦隊と激突、これを殲滅した。その後もソロモン攻略戦、ア・バオア・クー決戦など、大戦末期のほとんどの戦いに参加し、生き抜くことに成功する。連邦軍にはマシンの守護天使と、ジオン軍には白い悪魔と映ったことだろう。

いったいガンダムとはなんだったのだろう？ その評価は現在に至るも確定していない。ただはっきりしていることは、ガンダムこそMSの理想を具現化せしめた機体だということだ。



絶えは絶えずと強くタンデムにいくガンダム。これは高次元教育型コンピュータを搭載した機体は、これ以降出現しなかった



ガンダムを最も危険に感じ込んだのは、実は少尉。た、死角をつけて接近、機体に大ダメージの爆弾をしかけたのである



シャア少佐のザクは高速立体戦闘、ラル大尉のクフは連携運動戦と、ジオン軍側は機体特性をいかした戦闘を展開。しかしそのつどガンダムは想像を上回る戦闘力を発揮、逆襲している。だがどの戦いも分析上ではガンダムに勝機はないはずだったと、研究者の多くが述べている。



ジオン軍のニュータイプ用MAのサイコミュ兵器を破壊していくガンダム



MS技術はこの時点で、早くもその頂点を極めてしまったといえる研究費も少なくはない



無敵を誇ったガンダムも、ジオンという国家の象徴的ニュータイプ用MS、ジオングとア・バオア・クーで戦い、失われた。同要塞が接収された後、破壊された下半身（Bパーツ）が発見、回収されたという。頭部や、左腕を破壊されてもなお放ったビーム・ライフルの光は、いったい何を射たのだろうか。

一年戦争の名機たち 次回はあの赤い戦鬼“シャア・アズナブル”の乗機、MS-008を紹介！



CORE-FIGHTER

ハービック社製モジュール戦闘機
機体型式：FF-X7

乗員：1名
エンジン方式：両用熱核ハイブリッド方式
動力：NC-3型熱核融合ジェネレータ
大気圏内最高速度：マッハ3.6~4.8（推定）
兵装：単装空対空ミサイル・ランチャー2基
（後に4連装式に変更）
2連装機関砲2基



RX計画MSの心臓

RX計画モビルスーツは技術実証機という、非常に高度な機密性を持つ機体である。しかしRXシリーズには「戦場環境におけるMS運用データの収集」という特殊な任務が課せられていた。つまり最重要機密にもかかわらず、RXシリーズは実戦運用しなくてはならなかったのである。この相反する条件に対し開発スタッフが出した答えが、このコア・ブロック・システムだった。

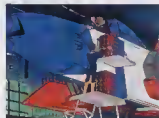
つまり中枢コンピュータや記憶回路など、機体の命ともいえるべき部分をモジュール化させたのである。こうして前代未聞の「自航可能で戦闘力のあるモジュール」、コア・ファイターが誕生したのである。

コクピット内部

内部は機体の小ささに比べると、比較的広いといえる。航空機形態ではセンターの操縦桿を使用、MFD（多機能ディスプレイ）にも在来機とのこれといった機能差は見られない。

機関砲

機首両側面には2連装機関砲を搭載。口径については諸説あり、30ミリとも25ミリともいわれているが真偽は不明。

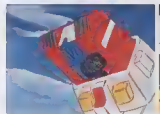


搭載MS

コア・ブロック・システムは、ガンダム、ガンキャノン、ガンタンクの3機種に採用。収集されたデータは共有化され、各機体の基本ソフトに組み込まれていたのである。

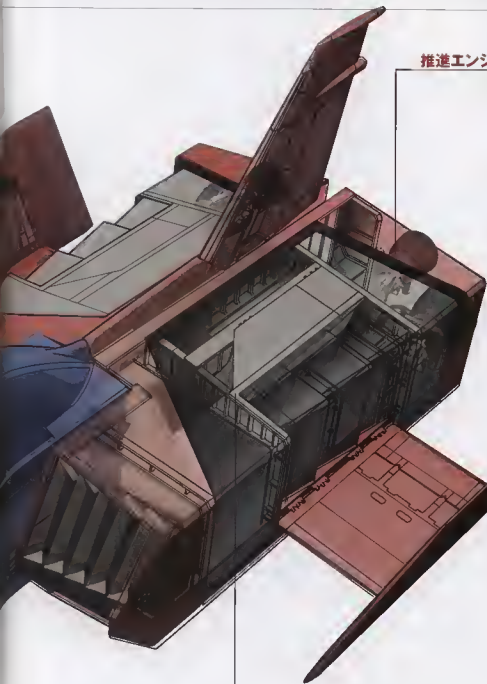


コア・ファイターのコクピットはドラム方式を採用、機体の角度に合わせることでできた。これは防弾力の向上にもつながり、パイロットの生存率を高めたのである。

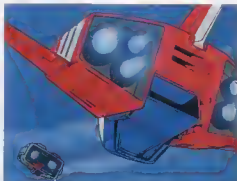


左はコア・ブロック形態におけるコクピットの状態の透視図。この状態からBパーツより分離、空中で飛行形態に移行することが可能といわれている。右は翼分断スイッチを弄したもの。数秒後、Aパーツが翼分断される。

一年戦争以降、モビルスーツは戦争という破壊行為の中心的役割を担うようになっていく。だが戦争とは多角的なものであり、MSだけで行いうるようなものではない。本コーナーではMS以外の、地球連邦・ジオン両軍を支えた兵器群を紹介していく。



推進エンジンノズル



推進器のノズルは大2、小4の計6個。大気圏内外の両方で使用することが可能。これは開発したハービック社お得意の技術である。

両用航空機

コア・ファイターを製作したハービック社は、連邦軍に数多くの航空機を納入する大手航空機メーカーだった。

空軍と宇宙軍の共同プロジェクト(F.F. 3計画)にも主契約メーカーとして参加しており、RX計画班はこの計画——両用戦闘機開発の実績に目をつけたのだ。コア・ファイターはその特性上、大気圏内と宇宙を飛行する能力を持たねばならない。しかも小型であることが必要不可欠。軍の要求を知らされた同社のスタッフは「キャプテン・ジオンでも乗せるつもりかい?」と半ば呆れ顔で答えたという。結局、機体のデザインはFF-6を、エンジン関係はFF-6Sから転用・改設計することを決定。多くの犠牲を払いながらも、技術陣は超小型の両用熱核ハイブリッド・エンジンを見事に完成させた。

ミサイル・ランチャー

これほど小さな機体にミサイル・ランチャーが装備されているという事実は、技術的観点から見ても特筆に値する。ハービック社の技術が非常に優れたものだった証拠である。



当初は単発式だったミサイル・ランチャー(●)も、後に改造され4連発式に変更された(●)。コア・ファイターの武器はあくまでも生存率向上のためだったが、ホワイトベース隊における意外な戦果を受けて、改裝力アップが図られたのだ。

着艦シークエンス

コア・ファイターは設計時からホワイトベースを母艦とすることが決定しており、相互に影響を与えあっている。艦体下部を着艦デッキとしているのも、その証拠といえるだろう。開発スタッフの苦労が垣間見える機能である。



① コクピット後部から固定用アレステイングフックが出現。② 減速しながら着陸面に近い艦体下部へ進入、制動索にフックを引っ掛ける。③ デッキ内部からアームが伸び、コア・ブロック化した機体を引き上げる

U.C.0079.01.03—06

血染めの鉄槌 コロニー落とし

ジオン公国により発動されたブリティッシュ作戦は、連邦軍本部ジャブローへの爆撃作戦だった。生け贄とされたのは、L4(ラグランジュ・ポイント4:地球と月の重力観測点のうちの1つ)宙域・サイド2のコロニー「アイランド・イフッシュ(1・イフッシュ)」。反戦工作や通報を避けるため、ジオン軍に解放されるはずの宇宙移民に対して毒ガスや熱核弾頭が使用された。無数の死体を載せたまま、巨大な宇宙島は移動を開始した。



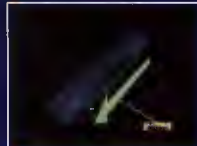
① スポークを一斉切断し、農場を排除。



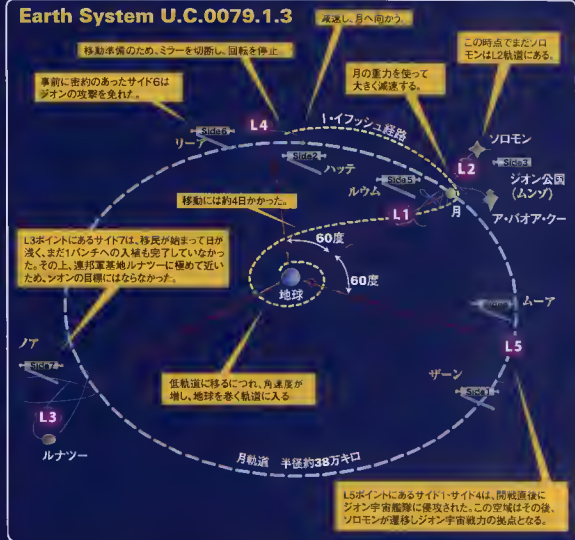
② 爆薬でミラを一斉切断し、排除。



③ 逆噴射を行い回転を停止。



④ 核パルス・エンジンで、移動開始。



オニール型と呼ばれる、このコロニーは、回転して遠心力を発生させ、居住区に対して擬似的重力を供給している。

この回転は、同時に、ジャイロ効果によってコロニーの軸線方向を現状

のままに維持する働きがある。

しかし、このコロニー落とし作戦においては、月の重力を使って減速する時などに、コリオリの力が発生し、コロニーに不要な力がかかる。また大気圏内での減速を極力少なくし、高速で到

達させるために、最も投影面積が狭くなる縦方向に突入させなければならぬ。これらの理由のため、コロニー爆撃は、軸回転を停止させないで使用しつらい。ジオン軍が真先に1・イフッシュの回転を止めた理由はそこにある。

コロニー落としの科学

通常、自由落下する物体は慣性の法則に従って直進する。これが、引力に引かれて重力中心に落下する運動と釣り合うと、円運動となる。



さらに外側(上側)の周回軌道に移る場合、下に噴射するのではなく、後ろに噴射して、角速度を大きくする。

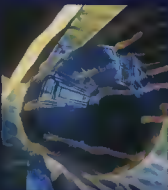


逆に、月軌道上のL4ポイントから宇宙島を落とすには、急激な減速を掛けて角速度を奪う必要がある。



L2ポイントの宇宙島が利用されたのは、大質量「月」の重力ブレーキを利用した急激な減速が可能だったことによる。





敗北の戦場

宇宙世紀0079年1月3日、宣戦布告直後、まだ無警戒だった連邦軍施設や各コロニーに、ジオンの宇宙艦隊が襲いかかった。その裏でジオン軍はサイド2の1・イフッシュを占拠、通報や内部からの反攻を回避するために、同じ宇宙移民に対して毒ガスによる虐殺が行われた。その後移送のために、無用のミラーを切断して、回転を止め、月に向かって送り出した。

宇宙作戦機とされていたモビルスーツや、将兵のほとんどが存在すら認知していなかったミノフスキー粒子など、予想外の新兵器に翻弄された連邦軍が、ジオンの真意に気づいたとき、1・イフッシュはすでに月に向かっており、宇宙艦隊による最初の阻止戦は月を回り込んだ後のことであった。

月面の攻防

ジオン側の作戦要諦では、第一関門は、スイングバイのため接近する月が、敵か味方かという点にあった。月の重力を利用すると、効率よく急激にコロニーを減速できる。L4から地球に向かう航路はいくつかあるが、連邦軍の本格的反攻作戦以前に艦隊を決してしまいたいジオン軍の取れる航路はこの一つしかない。月軌道上に敵の反攻戦力が集中せぬよう周到な作戦が立てられた。

ジオン軍とその協力者たちは月面遠攻制圧に特に力を注いだ。ルナツーな

どの無重力港を持つ宇宙艦隊中心の連邦軍は、大きな月面防衛戦力を持っておらず、大規模な反撃もかたくなめ、破壊もしくは降伏を余儀なくされてしまう。

この時に投降し、破壊を免れた月面の連邦軍施設の一つが、後のジオン軍拠点基地「グラナダ」となる。

激戦の宇宙戦闘

連邦の対応は、艦隊を編制する時間的余裕がなく、散発的な退避となった。コロニー内からの通報で住民全滅が知られたため、砲撃戦の合間に爆撃機を送り、「コロニー」の屋台骨をへし折って「粉砕する方が望まれていた。だが、ほとんどの攻撃は未知の兵器がググにより失敗している。

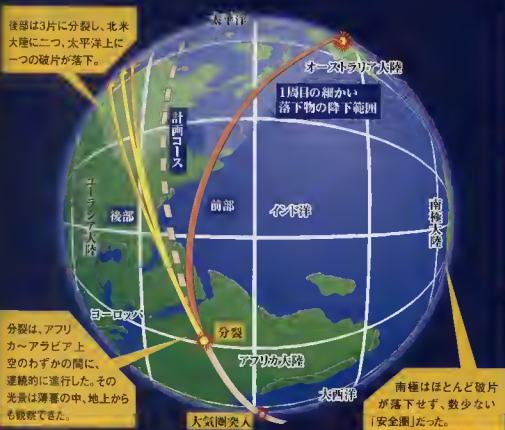
連邦軍は多くの未爆弾機を出しながらも、三つの陸地のうちの二つに艦隊を生じさせた。しかし、コロニー粉砕には至らず、コロニーはその姿を保ったまま地球の大気圏へと到達し

ていった。

爆散する巨大構造物

大気圏突入の衝撃が、1・イフッシュに決定打を与えた。第一陸地が艦隊から崩壊、そこから巨人の手で引き裂かれるようにコロニーが前後に二分、さらに後部は陸地ごと3片に分裂。これにより、前部は沈み込み、後部の3片は浮き上がり、ジャブローは衝突コースに上られた。

しかし、人類全体における被害は却って大きかった。前部はオーストラリア最大の人口密集地シドニーを直撃。後部は、太平洋に1片、やはり人口集中地である北米大陸に2片が落下。更に細かく破片は何年もかけて地上に降り注いだのである。



後部は3片に分裂し、北米大陸に二つ、太平洋上に一つの破片が落下。

分裂は、アフリカ〜アラビア上空のわずかの間に、連続的に進行した。その光景は薄暮の中、地上からも観察できた。

落下する物体は軌道が下がるに従い、また角速度が増し、地球に巻き付くようなコースをとる。それを見越した減速が必要。



この作戦の立案は、ジオン軍の参謀本部だが、発案者はギレン・ザビ総帥本人だといわれている。実際戦後に、毒ガス使用の決断を下すなど、作戦の根柢にギレンの影響があったことが明らかになっている。



ギレン・ザビ総帥

ソーラ・レイなど巨大土木事業を伴う作戦の指揮官を歴任。彼の指揮下の部隊が、毒ガス作戦を実行したといわれている。きわめて官僚的な人物で、部下を、悪くはそれ以外に選り分けていたという人物評もある。



アサラ・ティエ

連邦軍で落下阻止戦の先陣を切った部隊はルナツー艦隊だった。この艦隊責任者が、ティアン中尉である。小部隊の散発的な参戦という最悪の状態をよく指揮し、ジオン軍に圧力をかけ続けた。後に対ソロモン戦最高司令官となる。



ティアン中尉

コロニー衝突のエネルギーは、6万メガトン(TNT火薬換算)とされる。直撃すれば、強固なジャブローも破壊は免れなかった。しかし、1・イフッシュは、大気圏上層で崩壊。四つの破片により、オーストラリア大陸の1/3、北米大陸の1/4が壊滅した。死者・行方不明者は3億2000万人以上、二次被害では20億人が犠牲になったといわれる。ただし、コロニー内で毒殺された住民たちや、落下阻止戦の死者は、この数に含まれていない。

この後も、地球の住民対宇宙の住民という対決の構図が示されるたびに、幾度となく、コロニーや資源採掘用小惑星の落下作戦が計画された。また、U.C.0083年には、コロニー移送時の事故も起こっている。

大質量落下作戦・落下事故

- 0079 プリティッシュ作戦
- 0079 第二次プリティッシュ作戦 (ラム・ザビ戦、失敗)
- 0083 アイランド・ドールズ移送事故 (アイランド・ドールズが破片)
- 0087 グラナダへコロニー落下
- 0088 グラナダへヘクシム落下 (失敗)
- 0088 ダブルヘンコロニー落下
- 0093 5thルナ落下
- 0093 アクス落下 (失敗)

MOBILE SUIT GUNDAM DRAMA DIGEST

Part. 1 #01-04

【ガンダム ドラマ ダイジェスト】

●第1話～第4話

0079年 連邦軍はジオン軍との戦局を打開すべく、極秘裏に新造戦艦ホワイトベースと新型モビルスーツの開発を進めていた。その開発地、サイド7に暮らすアムロ・レイは、戦火の中、偶然に連邦軍のMSガンダムに搭乗し、ただ生き延びるため、否応なくジオンとの熾烈な戦いに身を投じていく。「赤い彗星」の異名を持つ男、シャアは、そのガンダムとホワイトベースを執拗につけ狙う。ふたりはまだ、その出会いが宿命であることを知らなかった……。本編第1話から第4話までのストーリーを一挙紹介。



「少年アムロ、戦場へ……」

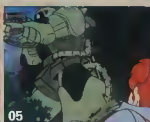
地球から最も離れたコロニー群・サイド3がジオン公国を称し、地球連邦政府に対して独立戦争を開始して8か月。連邦とジオンの戦争はこう着状態に陥っていた。

新設コロニー、サイド7に暮らす機械好きの少年アムロは、隣家に住む少女フラウ・ボゥに避難するようせかされる(写真02)。アムロの父が乗る連邦軍の新鋭戦艦・ホワイトベースの入港で、コロニー内に避難命令が出されたのだ。

ホワイトベースは、シャアの指揮するムサイ艦の執拗な追跡を受けていた。先行してサイド7に3機のザクを偵察に潜入させたシャアは、これまで極秘裏に進められていた連邦のモビルスーツ開発計画の実態をつかむことに成功する。

だが、偵察中のザクの1機が命令に違反、独断で連邦軍のMS製造基地を強襲する(03)。サイド7はたちまち戦火に包まれた。

民間人をホワイトベースに避難させることを思いついたアムロは、軍属の父に会うべく、避難カプセルを出る。戦場の混乱の中をさま



第1話には作品の世界観を視聴者に伝えるため、多くの仕掛けがされていた。特に冒頭の3機のザクがコロニーに潜入する場面は、コロニーを中心とした宇宙時代という世界背景と、それまでのヒーローロボットとは一線を画する、重武装兵隊としてのモビルスーツを端的に表現した名シーンといえる(01)。

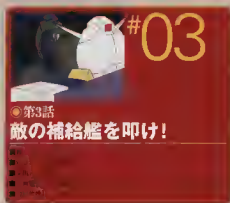
主人公、アムロの持つ本来のキャラクター性は、初登場シーンで描かれている。家に閉じこもり、避難命令にも無関心、ただ大好きな機械をいじり、フラウ・ボゥにもそっけない態度の少年からは、アムロがもともと社会性に乏しい内向的な少年であることがうかがえた(02)。本作は、未熟で疲りがちな一人の少年

が、戦いの中で多くの人々と交流し、人間として成長していく物語でもある。

モビルスーツの圧倒的な破壊力は、たった1機のザクが与える被害の大きさを表裏されている(05)。

ザクを見て戦慄するアムロからは、モビルスーツ(ザク)がいかに広く一般の人々にまで脅威を与えているかをうかがい知ることができる。

フラウの両親の死や父親との縁の薄いアムロの描写は、主人公に人生の損得となる大人の存在が欠落していることの象徴だろう。それは主人公に自立を促す要因だったが、子供と大人とのディスコミュニケーションは、当時の世相の描写でもあった。



WBは連邦軍の基地がある月軌道上の小惑星・ルナツーへ向かっていた。そんなおり、WBは尾行するシャアのムサイが他の艦と接触するという情報をつかむ。ブライトらはそれを補給と読み、強襲を決断する。果たしてガンダムとコア・ファイターは、補給中のムサイへの奇襲に成功 (02)。シャアはザクで応戦する。その間にWBはガンタンクとの連携攻撃で補給艦を撃沈。復讐に燃える艦長・ガデムは旧型ザクでガンダムに挑むも、宇宙に散った (06)。

「過酷な航海は続く……」



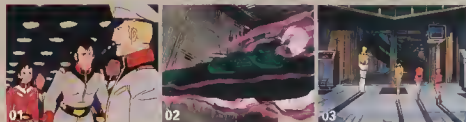
WBはルナツーに到着した。だが司令官ワッケイン少佐は、民間人の収容を拒否。最高機密を知ったアムロらを監禁する (01)。

一方、シャアは工作員による破壊工作でルナツーを混乱させる (02)。アムロたちはその隙に乗じて脱出、WBに乗り込む。バオロ艦長はワッケインを制してアムロらの行動を認め、大破し港を封じるマゼランを排除 (03・04) したWBは、辛くもルナツーを脱出する。その戦いを見届けて、WB艦長・バオロは絶命した…… (05)。



WBはムサイへの攻撃を多数決で決定する。軍事作戦の決定に民主的な方法を選択するとともに、軍隊になりきれないWBの事情が過不足なく描写されている (01)。一方、補給部隊としての意地を見るガデムは、戦艦軍人のストイックさを描いて対照的だ (03~05)。そのガデムが素人であるアムロに討たれるのは、道理の通じない戦場の辛や皮肉を描いている。

アムロの賛同がブライトのムサイ攻撃の決断を強押しする場面と、作戦後のブライトのアムロへの叱咤 (07) は、彼のアムロに対するいらだちと同時に奇妙な信頼の芽生えをうかがわせる。この後、ブライトはアムロを人間的に繋ぐ父親的存在になっていく。



ブライト、アムロらは軍の機密を知ったために監禁されてしまうが、もしシャアの攻撃がなければ軍事裁判にかけられていただろう。これも歴史の皮肉といえるかもしれない。

発見されることなくルナツーに接近するムサイの描

写で、ミノフスキー粒子によりレーダーが使えないという世界観がクローズアップされている。また、それゆえにシャアの工作活動は成功するのだ。

仰ぐ者のいない時代の嘆きをつぶやくワッケイン。それは本作の悲運に流れる暗黒といえよう (06)。

【ガンダム名言録】

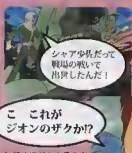
#01>04

名言の宝庫「ガンダム」から、これはというものを結集！
初回はサイド7からルナツーまで、緊迫感あふれる名セリフをピックアップだ。

#01



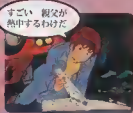
私もよくよく
運のない男だな



シャア少佐だって
戦場の戦いで
出陣したんだ！

こ これが
ジオンのザクか？

▶初めてザクを目の
当たりにし、その威容に
驚くアムロ。



すごい 假父が
無中するわけだ

◆連邦軍のV作戦
のファイルを手
にしたアムロ。彼等
鮮やかな雄しるし
と戦艦中なのにつ
いづい読みか
ける。血は争えない、
というところであ
ろうか？

父さん 人間より
モビルスーツの方が
大切なんですか？

▶敵艦隊の攻撃よりガンダムを失
先させるテム・レイに対して。非
情な父への怒りが感じられる。

◆戦艦を無傷し
自分勝手に攻撃を
しようとするシー
ン。功を奏したツ
ケは、結果的にす
まじく高いもの
のついてしまう
のだが。

認めたくないものだな
自分自身の若さゆえの
過ちというものを



▲ご存知。シャアがつかやく名中の名言。ガンダムとの最初の運
命違いとなり2機のガンダムをい、自滅する種だが、その手先は部下
の悪事を犯せられなかった自分自身に対するものか、はたまた自分
の甘いもろみに対してか……

#02



戦いとはいっても
2手 3手先を
考えて行けものだ

▲今計かつ大胆なシャア。情敵を
たすに次の作戦を実行する。

それでも男ですか
軟弱者！



見せてもらおうか
連邦軍のモビルスーツの
性能とやらを

◆一人で逃げよう
とするカイに対し、セ
イラのキツイ一言。
しかも平手打ちのオ
マケつき。カイも、
見ていたリュウやフ
ラウにもバツリ
の出来事だったろう。



▲ガンダムに迫るシャア。突然この運命、ガン
ダムの凄さを見せつけられてしまうことになる。

#03



エリートで
いらっしゃったのね

◆宇宙に出たのが初
めというプライドに、
この時代、地球軍の
人間はエリート派だ。
「皮肉ですか」と返す
プライドに、「貴族は
怪物でしょ」と切り返
すセイラ。



モビルスーツの性能の違いが
戦力の決定要因ではない
ということを一教してやる！

▲自衛隊やガンダム
に接しシャア。そして
経験の差を見せつける。

…が、どんな
攻撃も通用せぬガ
ンダムにお手上げ

ええい 連邦軍の
モビルスーツは
化け物か！

▲自衛隊やガンダム
に接しシャア。そして
経験の差を見せつける。



よろしくも
よろしくないも
ないだろう？

◆初出撃するカイ
のばやき。やらな
きやられるのが
戦争である。この
後「余計な」で死
られるハズに。



素人め
間合いが甘いわ！

▶戦艦のモビルスーツ乗りであるガンダムならではのセ
リフ。だが結局、その素人に撃滅されてしまう。

#04



あなたの敵は
ジオン軍人ですか？
それとも私たち
なんですか？

◆自分たちへの攻撃を続け
ようとするワッケインにキ
レたプライト。ホワイト
ヘースのリーダーとしての覚
悟が芽生える瞬間。



寒い時代だと
思わんか……

▶初代総長バオロに死なれ 素人集団にホワイトヘースを
けるをえないワッケイン。暗黒の一つも出てこよう。

俺たちだって戦った!
～ジオン哀愁編～

文・黒見一幸
イラスト・さとうけん

司会 あの一戦戦争を戦ったのは、メインキャラクタ一たちだけではありません。たった一言のセリフしか話さなかった機体たちもまた、あの戦争を戦ったのです。そこで、本日はここ、中立地帯サイド6にある居酒屋白飯亭にお集まり頂きましたジオン軍兵士の皆様にご一緒したごとうと思います。

騎士して「ガンダム大部屋座談会 俺たちだって戦った!」ベジオン哀愁編～。司会進行は、私、ウラガン中尉(※1)が務めさせていただきます。皆様どうかよろしく願っています。

デニム(※2) あんな誰よ。

司会 え? あ、あの、私はマク・ウェ様の副官として何となく登場しているのですが……ご存じないですか?

ジーン(※3) そういえば、どこかで見た顔だな。

司会 ええ、まあ、おかげさまで38話まで、なんとなか……。

スレンダー(※4) そのわけに名前と顔が売れてねえなあ、あんた。俺は第2話でいきなりガンダムのビーム・ライフルにやられちゃったけど、シャアと一緒にいたから結構名前が売れてんだぜ。

バイス(※5) 主役にからむと、目立てるからいいよなあ。俺なんかもマク・ウェの命令で、特殊装備身に付けて命がけでホワイトベースの施設破壊したんだが、誰も俺のことなんか覚えていないものな。

ドアン(※6) まあまあ、そんなこと言わないで。たとえ名前が売れなかったって、俺たちは俺たちなりにがんばってやってきたじゃないですか。



マーチ(※7) 何を言ってるやがる。おまえに何がわかる! おまえは、一話まるまるタイトルにまで名前を使ってもらって、いい人の役で……俺なんかあ、俺なんかなあ、グブに乗ってガンダムと戦ったのに、だれも覚えていないんだぞ! グブのパイロットといえば、みんなランバ・ラルしか思い浮かばねえんだ!

司会 まあまあ、そこはそれ、やはり新型のモビルスーツが登場するシーンというのは、見ている人に深く印象づけられるということなのでしょね。グフ、といえばランバ・ラル。このイメージを覆すのは難しい、というところでしょう。

ボラスニフ(※8) おい、ちょっと待て。おまえ今、新型モビルスーツが登場するシーンは、印象深いかんとか言いやがったな。

司会 ええ、言いましたか?

ボラスニフ ジャあ、おまえ、俺の名前を言ってみろ! 俺は新型モビルスーツのパイロットだったんだぞ。俺の名前も顔も乗っていたモビルスーツも覚えていやるんだろなあ?

司会 え? あ、あの……なんでしたか?

ボラスニフ 俺はな、ジックのパイロットだったんだよ! シャアと一緒にジャブローに侵入した後で、脱出するシャアに援護を頼まれて、ガンダムにやられちゃったんだ。援護といえど聞こえにくいけど、要するに身代わりされたようなモンだ。まったくひどいやつだぜ、あのシャアっていうのは。

マリガン(※9) わかります、よくわかります。あなたの気持ちが、私にはよくわかります。私も、会う人会う人みんな

に「あんた誰?」と言われ続けているんですよ! シャアのすぐ横にいたのに、誰にも覚えてもらっていないんですよ! (泣く)。

ボラスニフ そうだよな、あんたの気持ちがよくわかる……ん、でもって、あんた誰だっけ?

マリガン ひ、ひどい! 結局あんた私のことを覚えていないんじゃないか! 私はマリガン中尉ですよ! ほら、シャアの副官をやっていたマリガン中尉です!

ボラスニフ ああ、そう言われてみれば見覚えがある。お互いシャアのために貢ぎを引いたよなあ。

イワノフ(※10) 全部シャアが悪いに決まってるなあ。あいつは自分が目立つことしか考えやしないんだ。ジャブローに潜入したときだって、俺たちはみんな特殊工作班の黒いウェットスーツを着込んでいたのに、シャアだけは真っ赤な顔で赤いズボンなんかにも乗りやがって、何のための特殊工作班なんだよ。失敗するもの当たり前だ!

アカハナ(※11) そうだ! シャアの野郎! いちばん最初に会ったときに、いつ俺の顔を見ていきなり「おまえの名前はアカハナだ、そく決めた!」って言いやがって……それ以来ずっと俺の名前は「アカハナ」だ! なんだよアカハナ!? え? 俺はトナカイか? ガンダムで俺だけだぞ、名前があらさまに日本語、それもニクネームってのはよ! クラップ(※12) シャアの部下だった連中みんな恨みを持っているやがるな。シャアとランバ・ラルを比べてみれば、俺は人間的にはランバ・ラルのほうが上だったと思うな。

ミサキ(※13) そうそう、俺もランバ・ラルの部下だったけど、結構出番があったぜ。あのハモンさんに声かけられて、手まで握ってもらえたし……イイ女だったよなあ、ハモンさん(遠い目)。

い、その子供たちの顔刺を見るために命を犠牲にした

※7 マーチ 第23話

マク・ウェ様のグフパイロット。ト・ダグに奪ってマク・ウェ様の機を奪取するが、G・アイトに奪ったガンダムと一緒に死す。ビーム・サーベルで刺されて戦死。

※8 ボラスニフ 第23話

水戸黄門MS「ジック」のパイロット。レックローシャアに誘導の援護を申し出る。援護といえど聞こえにくい。要するに、高にされたのと同じことだ。

※9 マリガン 第26話、他

シャア復讐のときに副官になり、ア・バオア・クーまでつとめ、なんとく印象に残らない男。

※10 イワノフ 第30話

ア・バオア・クーに侵入、脱出するときにガンダムに後ろからビーム・ライフルで撃たれて戦死。

※11 アカハナ 第30話

同じジャブローに侵入、シャアと行動を共にしていたが、通るたびにガンダムにやられて戦死した。

※12 クラップ 第30話

ランバ・ラルの副官。部下をよこ殺して自らも作戦行動能力がなくなり、ホワイトベースを襲撃したときにランバ・ラルと命を共にしたと噂される。

※13 ミサキ 第1話

ランバ・ラル機長の兵士。ハモン機長の機を討つための出陣時に、名前を呼ばず手をした中の一員。

※14 ガイア 第24、25話

出席者データ キミは何人おぼえているか?

※1 ウラガン中尉 第1話、他

マク・ウェの副官。真力に準じており目立たないが、結構色々な場面に登場している。

※2 デニム曹長 第1話

ジーンとともに、サイド6にザクで侵入したベテランパイロット。ジーンの助を取ろうとしたが、逆にビーム・サーベルの威力で倒れて戦死した。

※3 ジーン曹長 第1話

サイド6に侵入したザクのパイロット。功名心から戦死。ガンダムのビーム・サーベルで機一文字に

切斷され戦死した。記念すべきガンダム機体番号1号。

※4 「スレンダー」 第2話

シャアとともに、ザクでホワイトベースに攻撃をしかけたが、ガンダムのビーム・ライフルで機体破壊された。ビーム・ライフルの威力で戦死した。

※5 バイス 第23話

マク・ウェ様の特殊部隊の隊員で、特殊機種の機体に乗って、ホワイトベースに直接攻撃をかけた。

※6 クラップス ト・ダグ 第30話

パイロットだったが、敵艦を沈められて死してしま

アカハナ 女っていえば、シャアの野郎、いつも
逢う女を連れていたって話だが……あいつはそう
いった男だな。

ガイア(※14) あんまり他人の陰口を叩くもじゃ
ねえ。シャアは俺たちとは違うんだからよ。

マツシユ(※15) おうよ。あいつらは花形スターで
俺たちはやら役。この構図は変わらないねえ。

オルテガ(※16) だしたら、どなたが主役を食え
るか、食いついていけるか。それが俺たちの意地
だな。

アカハナ ああ、これはこれは、「黒い三連星」の兄
貴たちじゃねえですか! あのガンダムと互角に戦
ったあんたたちは、俺たちジオン兵の憧れですぜ!
ガイア そんなにおだてないでくれ、「黒い三連星」
とか呼ばれていりゃなっていやない、結局はガン
ダムにやられちゃったことに変わりはない
んだ。

兵士A(※17) そんなことはないです
よ、俺たちなんかよりずっとマシです。
俺たちは名前なんかで呼ばれませんが、
俺は「ひとつ」で……。

兵士B(※18) あ、俺は「ふたつ」。

兵士C(※19) 俺は「みつ」。

兵士D(※20) 以下、よつ、いつつ、と9
人続いています。

司会 ああ、皆さんは、コンスコン隊のリ
ックドムのパイロットだったんですね。
あの頃にならともう、ガンダムは化け
物でしたからねえ。

兵士E(※21) でも、皆さんはいいで
すよ、ちゃんとガンダムに相手にして
ももらえたんですから。私なんて、い
きなり「なぜ出てくる!」の一言で終わ

りです。なぜ出てくると言われても困っちゃうんで
すね。あいつの果てに味方に撃たれてやられちゃ
え。本当に惨めな最期でしたよ。

クラン(※22) ちょっと待った。惨めな最期と
いうのなら、この俺を忘れなさいでいい。俺は
ザクに殺されたまま大気圏に突入して、真っ黒焦
げたバラバラ。そのままだ流れ星になっちゃったんだ。
「シャア少佐! シャア少佐! シャア少佐!」って早口言
葉みたいなセリフを何度も繰り返してよ。サウ
の中で焼け死ななくとも舌を噛んで死んでたかも
な。どっちにしてもいまだに惨めな最期を遂げた
のはこの俺だから。

コズン(※23) 惨めなといえば、俺も充分に資格が

あると思うな。俺なんか生身でいきなり後ろからバ
ズーカ撃たれて、どっかん! ひでえ話だぜ。

アカース(※24) こうやって、ジオンの連中の面を
眺めていると、なぜジオンが負けたのか、わかるよ
うな気がするね。

アカハナ なんだと、ためえ! 俺たちが負け犬の
面をしているにでも言いたいのか!

アカース いや、違う。動盪しいなだけで。俺が
言いたいのはジオン軍というものの組成条件、つま
り軍隊としての基本的な部分に欠陥がある、とい
うことなんだ。

司会 それはあれですか? 「ジオンに兵なし」とい
うことですか?

アカース それもある。でも、本当の欠陥はそうじゃ
ない。本当の欠陥は「ジオンに女なし」ということな
んだ。ジオン軍には女気がな
さざる。ハモンさんとララァしか出てこ
ねえ。

コフル(※25) あ、あと1人。私と一
緒にブラウ・ブニに乗っていたシムス
中尉って女もいますよ。

アカース ああ、あの色気のカケラも
ないオバサンか。あれを入れても、
たったの3人だ。女性兵士の数、質とも
は、連邦軍に比べれば、ジオン軍は
はるかに低い。ジオン敗退の理由は、
それだ、俺は断言する!

司会 そりゃあまあ、確かにジオン軍
は、連邦軍と違って一線の戦闘部隊
にほとんど女性兵士を配置しており
ませんが、それがジオンが敗退した
理由だといわれとも……。

アカース おまえさんは一線の兵士の
気持ちがわからないな。ともに戦う仲
間の中に女がいれば、気持ちが変わる。張り合いが
出る。それがジオン軍全体の士気に影響するんだ。

司会 そういうものなのですか?

アカース そうだ! ああ、俺もセイラさんみたいな
女の子と一緒に戦ってみたかったなあ……。

司会 本言はそれかよ!

オルテガ いや、アカースの言っていることにも一理
はある。連邦軍は我々より多くの人的資源を持って
いるが、女性や少年兵を採用し投入してきたの
は事実だからな。

アカハナ 女がいようがいまいが、そんなことは関
係ない。俺たちは物量の前に負けたんだ。いいも

の食って、戦場で女とイチャついている軟弱者でも、
数がありゃ勝てる。それだけのことだ!

(男の声) おい、ためえら。黙って聞いてりゃあ勝手
なことを言いやがって! ためえらに連邦軍の何が
わかっていうんだ!

司会 隣の部屋の人はお静かにお願いします! こ
こは今、座談会の収録中なんですから!

(男の声) 座談会の収録? なにが座談会だよ。ジ
オンの敗残兵が愚痴こぼしているだけじゃねえか!
苦労したのとは自分たちだかと思ってるのか!

オルテガ なんだと? ためえら、文句があるなら
顔を見せろ! (扉が叩く。そこに連邦軍の制服を
着た若者の一団)

オルテガ て、ためえら!

司会 ちゃんと皆さん! ここは中立地帯ですよ! 暴
力沙汰はいけません。暴力沙汰は!

連邦軍の若者 安心しろ。ケンカを売りに来たんじ
ゃない。あんたらが苦労した以上に、俺たち連邦の
下っ端も苦労していることを言いたいだけだ!

司会 あなた……お名前は?

連邦軍の若者 フムラウ(※26) ……っていったって、
どうせ誰も知らないだろうな。これでもっとし
たホワイトベースの乗組員だったんだぜ。俺たち
みたいな下っ端は、ほとんどと出番がなかったけ
だ。

司会 なるほど……連邦軍の下っ端の方も苦労さ
せていたんですね……(ぼん、と手を叩いて)ど
うですか? 皆さんも我々の座談会に参加されま
せんか?

フムラウ いいんですか?

司会 ええ、構いません。趣味方を越えて、同じ下
積み同士、通じるものがあるはずですよ。言いた
いことがあれば何でも言って結構ですから。

フムラウ わかりました。じゃあ仲間を呼んでます。

司会 というわけで「ガンダム大座談会」は連邦
軍の乱入を受けて、さらに続きます。



ルウム戦役で、レール砲を破壊して死者も上げた
「ペールズ」のリーダー トムを撃ってガンダムに
ム・ド・ストリーム・アタックをかけるが、カン
ダに暴行を食う。仲間を失った。再戦ガン
ダムに負けるが、ヒュー・サベルで奇襲され戦死。
※15 マツシユ 第24話

黒い三連星の一人だが、最終的に撃退するシー
ン以外にほとんど顔を見せない。ガンダムに突
入して切腹する戦死した。

※16 兵士A 第24話 25話
黒い三連星の一人。ガイアとあつたにムッシュの
討たれたガンダムに負けるが、ガンダムのビーム・サ
ベルで頭を横文字に切腹されて戦死。

※17 兵士A 第32話
コンスコン隊に所属するリック・ドムのパイ
ロット。顔も名前も不明。アカースら「ひとつ」と呼ば
れてはム・ド・ストリーム・アタックで撃たれて戦死。
※18 兵士B 第32話
同じリック・ドムのパイロット。顔も名前も不明。
正確にはアカースから「ふたつ」と呼ばれていた。
※19 兵士C 第32話

同じリック・ドムのパイロット。アカースら
は「みつ」と呼ばれていた。撃たれて戦死。
※20 兵士D 第32話
同じリック・ドムのパイロット。正確には、アカ
ースら「よつ」と呼ばれていた。戦死した。い

り「いつつ」と戦っている。以降「ここつ!」まで
カウントは続く。9人までが戦死である……合
衆 ※21 兵士E 第40話
ジオン軍のカンダと対峙する時に現れ出てきた
ザクパイロット。あつたで撃退された少年兵と思わ
れ、「あつた」といって口を閉ざす。

※22 クラン 第5話
メアの部下のパイロット。地球に降下するネ
ビュールを逃して攻撃を加えたが、ザクに乗ったま
ま大気圏に突入して、バラバラになり戦死。
※23 コズン 第16話 17話
ランバ・ラルのザクパイロット。顔と名も不明
に設定されるが、最終的に社団法人で機体の設計を

指導して戦死。最終からバズーカで撃たれて戦死。
※24 アカース 第16話
ランバ・ラルのザクパイロット。マシンガンで機
体内部に侵入したときにアカースの乗ったガン
ダムに撃たれて戦死した。

※25 フムラウ 第33話
別名モビルアーマー・ブラウ・プロのテストパイ
ロット。バトルーム中のガンダムに発見されて、ビ
ーム・ライフルで左半身を破壊される。
※26 フムラウ 第18話
機内メカニックの一人らしい。アルムロのとき
に神のちとろワザを食った。その後に登場シ
ンがないことを見るると、戦死した可能性が高い

君は勝ち抜くことができるか…… 対戦型トレーディングカードゲーム拡大中

GUNDAM WAR MOBILE SUIT GUNDAM THE CARD GAME

「機動戦士ガンダム」の魅力のひとつは、作品世界そのものにある地球圏を賭けた敵対勢力同士の熾烈な戦いを、対戦型カードゲームで再現した「GUNDAM WAR」も、その魅力に迫る新しい「ガンダム」遊びのひとつだ。

TV放映から25年、「機動戦士ガンダム」は作品自体の魅力にとどまらず、玩具やプラモデル、TVゲームや出版、音楽など、多数のメディアに拡大浸透することで、今日まで新たな楽しみを提供しつづけている。対戦型トレーディングカードゲーム「GUNDAM WAR」もそうした新しい展開のひとつ。「ガンダム」の作品世界とこのジャンルの親和性が高く、ゲームとしての奥深さもあった大いに楽しめる。加えていろいろなカードを集めるという趣味性も持つ注目のアイテムだ。

1999年に誕生した「GUNDAM WAR」だが、

初代「ガンダム」から最新作「ガンダムSEED」までのキャラクターやMSたちがカード化され、その数も3000種を超えている。新旧の作品にわたっている上に、基本的には分かりやすいゲームなので、ハイティーンから40代以上まで、幅広い年齢層のファンを獲得している。「GUNDAM HISTORICA」では「ガンダム」で遊ぶアイテムとして実際にゲームで使用できるカード、第1巻には「アムロ」を、第2巻には「シャア」を初版限定付録にした。このカードがあなたに勝利の運を呼び込むことを祈る。



ゲーム大会や関連商品の情報など、詳しくは「GUNDAM WAR OFFICIAL WEB」<http://www.carddas.com/cdmasters/gundamwar/>を参照ください。

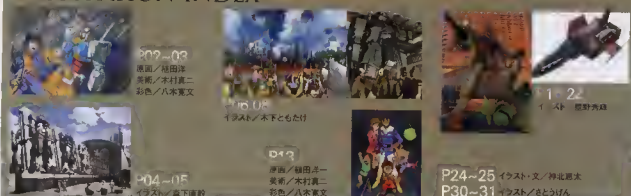
本誌初版限定付録カードも参戦!



「GUNDAM HISTORICA」第1巻、第2巻の初版限定付録のカードは、既に発売されている「アムロ」と「シャア」のカードと置き換えられる。公認のカードゲームツアー大会（「WEB」参照）などでぜひ使用してほしい。

ILLUSTRATION INDEX

イラストインデックス



GUNDAM HISTORICA 使用の 場面写真について

「GUNDAM HISTORICA」の各巻の場面写真は、現在収録中の資料に基づいて、その結果、各巻の場面写真のご厚意により、TX版、機動戦士ガンダムのデザイン、1/100スケールのモデルを使用した構図を、再使用しています。その結果、3巻を拝見しながら、いまだに大きな魅力にあふれている映像をお楽しみください。

機動戦士ガンダム 25周年によせて

株式会社サンライズ
代表取締役社長
吉井孝幸

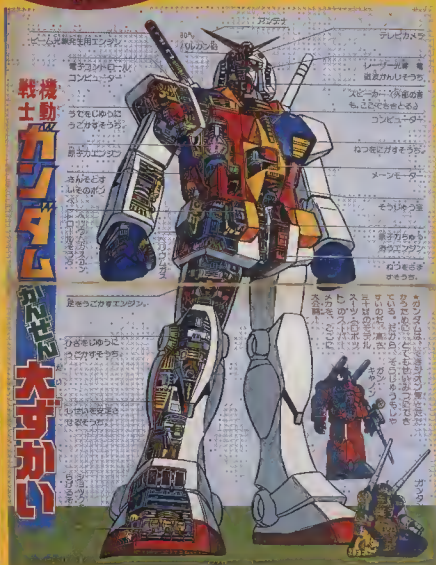
1979年、「機動戦士ガンダム」を発表してから、はや四半世紀がたちました。この間幾多のガンダム作品を世に送り出して参りましたが、それが可能であったのは、そもそも「機動戦士ガンダム」という作品自体がもつ奥の深さというか、幹の太い作品であったが故でした。幹が太く、いろいろな切り口が可能な作品であったがために、新しい枝を大きく伸ばすことができ、多様な進化を遂げられたのだと思います。

いまや「ガンダム」は、ロボットの代名詞といわれるほど広く社会に認められつつあります。しかし、単なるメジャー志向とは、我々は無縁です。

サンライズが「ガンダム」でめざしているのは、広く浅く知られることよりも、長く、深く支持され続けるナンバーワンキャラクターの創造と発展です。幸い熱烈な情熱をもったコアなファンに支えられてここまで歩んで参りましたが、これからもその時代、その時代の先端を担う若者たちに向けて、鋭い切り口をもってメッセージを発信し続けていきたいと思ひます。

テレビマガジン MEMORIAL

「機動戦士ガンダム」の放映当時、ファンにとって重要な情報源であった雑誌「テレビマガジン」。ここではカラフルなイラストを中心に、紹介記事を振り返っていき。(1979年7月号より)



GUNDAM HISTORICA 01



Cover Illustration
(原典) 土野三司
(監修) 八木寛文
(監訳) マサダカシロ

CONTENTS

ガンダム大地に立つ!	02
V作戦発動	04
一年戦争史「戦争への道」	06
クロスアップ キーパーソン「アムロ・レイ」	10
一年戦争の名機たち「RX-78-2 ガンダム」	16
ウェポン・アーカイヴ「コア・ファイター」	22
宇宙世紀戦跡探訪「コロニー落とし」	24
ドラマダイジェスト「第1話〜第4話」	26
ガンダム名言録	29
ガンダム宝箱「大部屋座談会」重見一幸	30
「サイエンスボックス」水瀬唯	32
「トイボックス」五十嵐浩司	32
「GUNDAM WAR」紹介	33

Editor	小川 徹 大久保 健 (副編集)
Staff	南波 健一 (元編集)
Writer	中川 大地 笠井 修 高橋 孝子
Illustrator	岩崎 忠 藤田 香太郎 渡辺 広海 長谷部 隆成 高崎 風之 神北 隆太 神崎 和宜
Design	横田 洋一 (原典) 永井 真二 (監修) 金下 真一 木下 ともたけ 足野 秀規
Special Thanks	Banana Grove Studio 坪井 聡 松倉 昌典 林 健一 山本 敏 若原 隆子 野野 一夫 谷 林 健一
	佐々木 新 池内 康一郎 井上 幸一 浅井 真 (ヤング)
	池上 隆之 (光輝堂)
	梅崎 正行 (ファウンダー・シモン)
	皆川 ゆかり
	(株)バンダイ パンダー事業部

オフィシャル ファイル マガジン
Official File Magazine
専用バンダイ付
機動戦士ガンダムヒストリカ 第1巻

2004年4月9日第1刷発行

発行所 五十嵐隆夫
編集人 菅家洋也
発行所 株式会社 講談社
〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21
電話 編集部 03(5395)3961
コミック販売部 03(5395)3605
雑誌業務部 03(5395)3603

印刷所 共同印刷株式会社

© 創通エージェンシー・サンライズ

Printed in Japan N.D.C.788 36p 30cm

定価は輸送用ケースに表してあります。

※商品・本・冊子は雑誌業務部にてお取り扱いします。
※商品・本・冊子は雑誌業務部にてお取り扱いします。
※本巻の無断複製(コピー)は著作権法上の罰則を被る、禁じられています

ISBN4-06-367052-X

GUNDAM HISTORICA

機動戦士ガンダムヒストリカ

全10巻

圧倒的なビジュアル。

豪華執筆陣による、当時を彷彿させる凝縮された文章。ここまで内容にこだわった書籍がなかったらどうか。

かつてない決定版!!

各巻定価:570円(税込) A4判変型 角質 中とじ オールカラー36ページ



一年戦争勃発
好評発売中

一年戦争最初の激戦と
なった一週間の戦いを解説。
アムロとガンダムを特集。

モビルスーツ・スペシャル
5/25

MSスペシャル号。MSV
での幻の名機やエースパイ
ロットたちを徹底特集。

連邦宇宙艦隊再編
6/25

第13独立艦隊。別名おと
うぼろとして少年少女は
戦火の中、笑顔を知る。

発令! 星一号作戦
7/23

ブラタとゲルグを特集。
ニュータイプ同士の出会い
が感動を生む。



激闘! ルウム戦役
好評発売中

「ジオンに兵なし」の名言の
因となつたルウム戦役を解説。
シャアと専用ザクを特集。

シャブロー攻防戦
6/10

連邦軍本部シャブローでの
決戦。セラ選命の再
会と、スゴックを特集。

ソロモン侵攻
7/9

ジオン軍の重要ソロモン
攻め。ギレンとザビ家、
そしてビッグ・ザムを特集。

決戦! ア・バオア・クー
8/10

最終戦ア・バオア・クー。
ジオンをして、アールVS
シャアの決戦を特集。



ジオン地球占領作戦
4/23

一年戦争初期のジオン地
球降下作戦を解説。ガル
マとグフ、ガウを特集。



オデッサの戦い
5/10

ジオン軍の拠点、オデッサ
の攻防戦を解説。マザル
ダとダムを特集。

全巻購入者に
2005年版カレンダーつき
GUNDAM HISTORICA
カード画集
全員サービス!!

【応募方法】
各巻の34P右下につく応募券
10枚、第10巻(8月10日発売)
に添付された応募用紙に貼り、
代金(300円の定価小冊子)
を添えてお申し込みください。
11月ごろのお届けとなります。



最新の情報はガンダム オフィシャルズ公式Webまで

▶ <http://www.gundamofficials.com/>

ガンダムコミックの殿堂!



機動戦士ガンダム
逆襲のシャア
ときた洗一
原作/矢立 肇・富野由悠季
定価420円(税込)



新機動戦記ガンダムW
エンドレスワルツ
ときた洗一
原作/矢立 肇・富野由悠季
定価410円(税込)

大絶賛発売中!!

講談社

アニメの感動をコミックスでもう一度



昨年アニメ界を席巻した「21
世紀のファーストガンダム」を
光栄コミック化!! 激戦場面が
描く興隆タッチがキミを魅了!!



マガジンZKC
機動戦士ガンダムSEED ①〜③巻
岩瀬昌嗣 原作/矢立 肇・富野由悠季
(以下続刊)

大好評発売中!!

各巻定価300円(税込)
講談社

話題のガンダムSEEDを1話から



機動戦士ガンダムSEED 全50話
キッスステーション(CS)で放送開始!

4/20 スタート! 毎週月~金 17:30~、22:30~
機動方法の詳しい情報は
キッスステーションHPへ<http://www.kiss-station.com>
またはキッスステーションTEL:03-5805-9811まで

